

経済学部  
学力検査問題

小論文

令和2年3月12日(木)

自 9時00分

至 11時00分

答案作成上の注意

1. この問題冊子は、表紙を含み5ページ(表面のみ)です。
2. 解答用紙は3枚、下書き用紙は2枚です。
3. 受験番号は、すべての解答用紙の受験番号欄に必ず記入してください。  
また、解答用紙に氏名を記入してはいけません。
4. 解答は、すべて解答用紙の所定の箇所に横書きで記入してください。
5. 配付した問題冊子及び下書き用紙は持ち帰っても構いませんが、解答用紙は持ち出してはいけません。

〔I〕 次の文章を読んで、以下の問題1、問題2に答えなさい。

著作権の観点から、公表していません。

(出典：大竹文雄『経済学のセンスを磨く』日本経済新聞出版社，2015年5月8日，172～176ページより一部抜粋・改変)

(注1) 「インセンティブ」とは、行動を促す要因，行動の動機付けとなるもの。

(注2) 「トレードオフ」とは，2つを同時に得られず，二者択一を余儀なくされる状況のこと。

問題1 実社会でみられるインセンティブを用いた仕組みを、文中の事例以外の具体例を挙げ、300字以内で記述しなさい。

問題2 通常、教育の成果を受け取るには、数カ月以上、時には何十年もかかることになる。それを加味すると、教育現場において有効なインセンティブとはどのようなものであろうか、あなたの考えを500字以内で記述しなさい。

〔Ⅱ〕 次の文章を読んで、以下の問題 1、問題 2 に答えなさい。

著作権の観点から、公表していません。

著作権の観点から、公表していません。

(出典：「中央銀行のポピュリズム 緩和期待に応えぬ勇気を (社説)」『毎日新聞』2019年9月21日朝刊)

問題1 下線部(1)「それでも中央銀行が金融緩和に向かうのはなぜか。」の答えを150字以内で記述しなさい。

問題2 下線部(2)「『熊にエサをやるな』——。」とはどのようなことを意味するのか。本文の内容に即して300字以内で説明しなさい。